

## 令和5年度第2回総務省契約監視会の議事概要について

開催日及び場所	令和5年12月8日 総務省会議室及びリモート審議
構成員（敬称略）	座長 北大路 信 郷 明治大学 名誉教授 構成員 有 川 博 日本大学総合科学研究所客員教授 構成員 片 桐 春 美 公認会計士 構成員 園 田 智 昭 慶應義塾大学商学部教授 構成員 高 橋 伸 子 生活経済ジャーナリスト

### 契約案件の審議

審議対象期間	令和5年4月1日～令和5年6月30日
抽出案件	2件（対象案件925件）
審議案件	4件
構成員からの質問・意見に対する回答	以下のとおり。

### 【議題1】「業者見積書の位置付け」

資料に基づき、説明を行った。

意見・質問	回答
<p>（有川委員）</p> <p>一般競争において契約担当部局が取る下見積書は、入札参加者全員から取得するという事となっているが、どの時点で取るのか。</p>	<p>入札参加者から入札時に取得。</p>
<p>（有川委員）</p> <p>下見積書には会計法令の守秘義務が課せられていないが、（守秘義務が課せられている）入札書と同様、注意して取り扱っていただきたい。</p> <p>また、1者入札のとき、参考見積書に基づく所要経費は、下見積書と比較しても違う形にはならないので、注意して取り扱っていただくとともに、経費積算は可能な限りつくる努力をしていただきたい。</p>	
<p>（園田委員）</p> <p>一般競争入札における予定価格は丁</p>	<p>事業者の経営判断によるところが要因として大きいと</p>

寧なプロセスで作成されているにもかかわらず、希に低落札率の案件が発生してしまう原因はどのように考えているのか。

この予定価格のプロセスというのが適正ではなかったということにならないのか。

考えている。

予定価格は、複数の事業者から下見積書を取得するとともに、独自に経費積算も行うことにより作成している。よって、低落札率ということをもって、予定価格作成のプロセスが適切でないということは当たらないと考えている。

【議題 2・抽出案件（1）】一般競争入札(最低価格落札方式)

契約件名： 中央合同庁舎第 2 号館で使用するガスの購入

契約相手方： 東日本ガス株式会社

契約金額： 48,908,000 円（落札率 100%）

契約締結日： 令和 5 年 4 月 21 日

競争参加業者： 1 者

意見・質問	回答
<p>(高橋委員)</p> <p>参考見積書の取得段階で、提出ができないと断られているが、そもそも、ガスの供給できる事業者はどれくらいの数があるのか。</p>	<p>過去も含め入札参加が未確定の段階では、参考見積書は作れないという場合がほとんど。潜在的な供給者として 3 者にお声がけをした。</p>
<p>(高橋委員)</p> <p>ガスの単価の推移について、今回どのように分析しているのか。</p>	<p>社会情勢があまりに厳しく、過去の実績については、参考にできない部分がある。</p>
<p>(高橋委員)</p> <p>今回の落札価格であれば、他の事業者の参加があってもよかったのではないかと考えるが、どのように解釈しているのか。</p>	<p>供給できるガスの量が、会社ごとに決まっており、我々が調達するタイミングで、1 年間に必要なガスの量が事業者にとって供給可能であれば、入札してくれるが、そもそも供給できる量がない事業者は、入札を見合わせているのではないかと推測している。</p>
<p>(高橋委員)</p> <p>1 者の入札で落札価格が高くなっているのを、今後のことを意図して研究を行うなど、国民の納得いくような調達をしていただきたい。</p>	<p>高止まりになってしまうのは、よくないと考えており、他省庁との情報交換を行うなど、価格相場感を見極めていきたい。</p>
<p>(片桐委員)</p> <p>市場価格に合わせ、単価を変動させることは契約上できるのか。</p>	<p>市場価格が変動した場合、社会情勢の変化に伴って単価の変更を行うことは可能。</p>

【議題2・抽出案件(2)】一般競争入札(総合評価落札方式)

契約件名：【ア】放送コンテンツの適正な製作取引の推進のための調査研究の請負

【イ】放送コンテンツ製作取引における相談・紛争解決促進の在り方等に関する調査研究の請負

【ウ】放送コンテンツ等の海外展開を促進する効果的な情報発信に関する調査

契約相手方：【ア】三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

【イ】株式会社メディア開発綜研

【ウ】一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構

契約金額：【ア】10,890,000円(落札率99.5%)

【イ】19,250,000円(落札率98.5%)

【ウ】149,600,000円(落札率95.9%)

契約締結日：【ア】【イ】令和5年4月3日【ウ】令和5年6月16日

競争参加業者：【ア】【イ】【ウ】1者

意見・質問	回答
<p>(有川委員)</p> <p>総合評価方式のやり方として、どのように、評価の透明性・公平性を確保しているのか。</p>	<p>省内基準に基づき、評価者のうち1人を担当課室の管理者、もう1人を担当課室以外の管理者にすることで透明性・公平性を確保している。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>参考見積書の提出事業者はどのように選んでいるのか。</p>	<p>過去に放送業界の調査研究の請負実績のある事業者を中心に声かけをしているが、放送業界に知見のある事業者に限られるため、今後はより幅広く声かけをしていきたい。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>参考見積書の提出をしてもらう事業者の選定に公平性を出すこと、あるいは事業者の数を増やす努力をしていただきたい。</p> <p>また、過去どういったところに、どのような考え方で声をかけたのか、担当者間で情報共有をお願いしたい。</p>	

<p>(有川委員)</p> <p>過去5年にわたって同じ事業者が落札を続けていることについて、どのように分析しているのか</p>	<p>結果的に同じ事業者が落札していると考えているが、今後は仕様書の内容も含めて見直しを行いたい。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>1者応札が続かないようにするために、仕様書の内容を見直す、参考見積書をより幅広くとるといった努力を、問題意識を持って取り組んでいただきたい。</p>	
<p>(高橋委員)</p> <p>公正取引委員会等の関係省庁と意見交換などはあるのか。</p>	<p>現在は主に中小企業庁と連携しながらヒアリング調査を行っている。</p>
<p>(高橋委員)</p> <p>【ア】と【イ】の契約は関係性がないとのことだが、関係性はあるように思われる。</p>	<p>【ア】と【イ】は関係性がある。【ア】【イ】と【ウ】には関係性がない。</p>